

2020年 8月 31日

協力活動報告書（令和2年 8月分）

清水町長

様

清水町地域おこし協力隊員

氏名 伊 藤 隼 印

今月の活動報告	今月は、先月と仕事内容に大きな変化はなく、ふるさと納税の事務処理を中心に活動しました。 8月5日には、ふるさと納税新規参入を検討している事業者さんに対して、ふるさと納税に関する説明会が開催されました。私もプライベートで利用したことのあるお店や商品を取り扱っている方々が出席していて、本当に清水町には他の町の人にも自信を持ってお勧めできるものが多いなと改めて感心していました。 ふるさと納税の額が伸びること以上に、ふるさと納税を通して事業者さんのことを知ってもらえるチャンスが増えるかもしれないので、楽しみです。そしてそれが、「外から来た人」である私の役目でもあるかなと感じております。 今回は、私が具体的にどのようにしていいたら清水町の事業者さんをもっと多くの方に知ってもらえるかを考え、実行しているのかをお伝えしていきたいと思います。 私は一応、ふるさと納税の担当をしていますので、ふるさと納税をメインにお話ししていきます。 まず、ふるさと納税に関しては、外部の方に協力してもらい、寄付金額アップに向けて戦略的に取り組んでいます。そのため、正直私は、その取り組みをスムーズに進めるために、日々の業務にあたっています。まだ移住してきて半年も経っていませんので、「ふるさと納税」についての勉強と「清水町の事業者」の勉強をしつつ、事務作業を行っています。 ここでのアプローチは正直、私よりも専門性も高く、実績もある方が指揮を執っていますので、私ももちろんいろいろと思考していますが、ほぼサポートに徹しております。 では、地域おこし協力隊としてできることはなんだろう。それは普段の仕事、取り組み「外」からのアプローチだと思います。 その一つが、先月話させていただいたYouTubeです。 現在この活動は、「清水町をすでに知っている人」に向けて発信しています。そのため、何かのきっかけで清水町の名前を知った人が、『清水町』を検索すると「清水町の結婚に関する取り組み」や「清水町の人口」という、『情報』しか載せておりません。PR的な要素はほとんどない、いわば「動画版ウィキペディア」を意識しています。 なぜこんな、知ってる人しか見ないような内容。むしろ、清水町を知って
---------	--

	いる人ですら見ないような内容を挙げているかということ、理由は一つです。「YouTube (Google) に清水町を認識してもらう」ためです。まずはとにかく動画数を増やします。「清水町」に関する動画についての数を増やして、YouTube (Google) に「清水町」を理解してもらいます。人に理解してもらう前にAIに理解してもらうという実体のない相手との闘いになりますが誠心誠意頑張りたいと思います。 他にも検索に出やすいようにするためにはいろいろと手法やらコツやらがありますが、ここでは割愛させていただきます。まずは、どこまで効果があるかわかりませんが、数を出したいと思います。ノーリスクちょいリターン、あわよくばミドルリターンくらいになるかもしれないので、やらないよりはやる方がいいと思います。 数が増え、清水町が何かしらの関連動画にも出るよう頑張った後は、ふるさと納税に関わる動画を出していきたいと思っています。10月～12月がふるさと納税の繁忙期になるので、10月に集中してふるさと納税関係の動画を出していく予定です。 私は、ほかの役場の職員よりも、まとまった時間がありますので、この「時間」と「フリーな立ち位置」を最大限活用して頑張りたいと思います。 10月以降からふるさと納税の仕事が慌ただしくなるようですので、今のうちに動画を発信していきたいと思います。
要 望 、 意 見 等	
備 考	